

<競技部>

大会名	期 日	会 場	
大阪府民スポーツ大会 バスケットボール競技	5月5日 ↓ 6月13日	千島体育館 Asueアリーナ大阪	予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
第80回 国民スポーツ大会 近畿ブロック大会	8月22日 ・ 23日	滋賀県	
第80回 国民スポーツ大会	10月15日 ↓ 19日	青森県	
第73回大阪総合 バスケットボール 選手権大会	8月29日 ・ 30日	箕面市立 第1総合体育館 スカイアリーナ	全日本選手権近畿 ブロックラウンド 大阪府代表決定戦 を兼ねる
第102回天皇杯 第93回皇后杯 全日本 バスケットボール選手権大会 近畿ブロックラウンド	11月21日 ・ 22日	兵庫県姫路市	
大阪バスケットボール カーニバル	3月22日	おおきにアリーナ舞洲	

Wリーグ2026-27 大阪 開催予定 (対戦カードの情報公開は、5月以降にお願いしま

開 催 日	開 催 会 場	対 戦 カ ー ド
10月31日(土)	金岡公園体育館	ENEOS vs シャンソン
11月1日(日)		
11月14日(土)	守口市民体育館	SMBC vs 新潟
11月15日(日)		
12月19日(土)	大浜だいしんアリーナ	デンソー vs 富士通
12月20日(日)		

<T O>

1. 重点目標

- ・ カテゴリーを超えて連携し、各カテゴリーの T0 技術の底上げを行う。
- ・ トップリーグを担当できる知識と技能を持つトップリーグ担当 T0 (B 級 T0) を養成する。
- ・ B リーグの現地スタッツ化に向けて、スタッツ実技講習会を実施し、スキルアップを行う。

2. 活動方針

- ・ 定期的に T0・スタッツ講習会を実施し、ルールを理解を深め、技能を磨く。
- ・ 各カテゴリーでの T0 講習会に、JBA 公認インストラクターを講師として派遣する。
- ・ トップリーグに限らず、3×3 や SBL などカテゴリーを超えて T0 担当者を派遣する。
- ・ JBA が主催する T0 講習会等に積極的に研修生を派遣し、研鑽を積む。

3. トップリーグ担当 T0 講習会 実施計画

No.	開催日	研修会・研修使用大会等	会場	備考
1	2026. 5. 23 (土)	OTC スパジオカップ	大浜だいしんアリーナ (大浜体育館)	実技講習
2	2026. 6. 20 (日)	SB2 リーグ	Asue アリーナ大阪	実技講習
3	2026. 7. 18 (土)	SB2 リーグ	タツタ電線	実技講習
4	2026. 8. 22 (土) ・ 23 (日)	国民スポーツ大会 近畿ブロック大会	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀県)	近畿ブロック合同 実技講習
5	2026. 8. 30 (日)	大阪総合	箕面市立第一総合運動場 スカイアリーナ	実技講習

4. トップリーグ担当 T0・スタッツ派遣 計画

- B. LEAGUE 大阪エヴェッサ ホームゲームへ トップリーグ担当 T0 を派遣予定
W リーグ 大阪府開催の試合へ トップリーグ担当 T0 を派遣予定
3×3 連盟 3x3 日本選手権大阪府大会 (オープン・U18) 等へ 派遣予定

その他、各連盟や全国大会等への派遣依頼があれば、積極的に派遣する。

<企画・広報>

大阪のバスケットボールの情報源として、充実した内容を発信していく。
「Wリーグ 2026-27」大阪開催への集客を目指した配信を行う。

1. ホームページの充実、改善

- ①大会情報や結果、新着情報などの情報を始め、各委員会・連盟と連携。
- ②他府県協会のHPも参考に、アクセス者の利便性を向上させるべく改善。

2. SNS広告

定期的な更新の徹底

恒常的なアクセス数維持のため、各部会の更新期間が空く場合でも投稿を継続する。

3. 「Wリーグ 2026-27」大阪開催への集客

①顧客セグメンテーション対策

コア選手をロールモデルとして憧れる世代を超えた観客を育成する。

- ・学校部活動PR、クラブチームPR、オープニングゲームの企画
- ・握手会、飲食の充実、試合前日などクリニックの実施

②MD施策

試合チームのグッズ提供(販売)、権利販売(オフタイムアトラクション参加、エスコートなど)

③SDGs企画(シーズン前)

選手・リーグによる自主的な取り組み(クリニック、国際女性デー、清掃活動など)の実施
スポンサー企業との連携強化(ネーミングライツ、コラボグッズなど)

4. 学生インターンシップの導入

①Wリーグなどの経験を活かし、学生の進路に対してメリットのある事業の展開。

業界・職種研究の一環として、入社後の業務イメージを具体化し、志望動機の裏付けとなる内容の提供をする。

②学生が「自分の人生をどうしたいか」を考える場の提供

学生自身が、いま興味を持っている分野について考えるための機会とする。

③大学との連携を深め「キャリア開発プログラム」に力を入れ「リアルな現場課題」に取り組むプログラムを開発し、提供していく。

5. マネージャー養成講座の実施

「部活動をマネジメントする人材の育成」を目的に、高校部活動マネージャーの基本的なスキル習得とモチベーションアップのための講座を実施する。

<技術統括>

1. 方針

(公財)日本バスケットボール協会より打ち出された「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2021」の理念に基づき、「大阪でバスケットボールを楽しむ人が増え、バスケットボールを楽しめる環境が充実し、そして、大阪から日本代表選手が生まれ、世界で活躍し、それが大阪や日本社会を元気にしていくこと」を理念として事業をすすめていく。

その内容は、「強化・育成」「事業」「組織」を引き続き進化させ、「育成」「コンプライアンス」の上昇機運を好循環スパイラルに昇華させるというものである。各委員会がこれまで構築してきたものを更に充実させ、場合によっては各委員会が横断的に協力し、登録チームや選手に対して「育成」・「強化」・「普及」をはかるために事業をすすめていきたい。

「育成」においては、DC事業が12年目(OBTA事業含む)を迎えるわけだが、引き続き、各カテゴリーにおいて各事業の開催に向けて取り組んでいきたい。特に、育成事業の柱であるU12の練習会、U13の8ブロック練習会、U14の8ブロック練習会と大阪DC交流大会、U15の練習会を開催し、育成に努めたい。課題であったU15とU16(国スポ少年男女)とのつながりが大きく前進し、国スポ少年種別に中学生が選考され活躍する選手もおり、バスケットボールを始めるU12世代とU18に繋げるU15世代の連携を今後さらに深めていきたい。指導者養成では、2019年度よりコーチデベロッパー制度導入など、コーチに関わるライセンス制度が大きく変更された。今後も、制度の変更にしっかりと対応できるよう、研修会の充実など、コーチにとっても安心・安全な環境を構築するために適切な支援を継続し、その結果、大阪府から、より多くの指導者を輩出することを目指してく。

「強化」においては少年種別がU16に変更されてから7年経過したが、成年種別でU17、U18のいわゆる高校生2、3年生も対象選手となり活躍する選手も台頭してきた。選手選考やスタッフ構成においてもU18から1名加わるようになっており、更なる強化に向け取り組んでいきたい。また、昨年の「滋賀国スポ」では1997年地元大阪府で開催された「なみはや国体」以来となる総合優勝(成年女子準優勝、少年女子準優勝、少年男子ベスト16)を獲得することができ、引き続き「強化」と「育成」が連携する必要性を大切にしていきたい。

「普及」においては、49歳以上の大阪シニア大会の開催を通じ、オーバーエイジカテゴリーの普及に努めていきたい。

2. 今後の課題と具体案

(1) 強化学業

①国民スポーツ大会(成年種別)事業

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム、選手の発掘
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学連、社会人連との連携
- ・ 強化練習会、合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 若手スタッフ、女性スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考

②日本スポーツマスターズ2026石川大会への選手選考、派遣

- ・ 選手選考会の実施(5月~6月で2回実施予定)
- ・ 練習会、練習試合の実施(社会人連盟との連携)
- ・ 選手派遣

2026年9月19日(土)~22日(火祝)

開催地:石川県

(2) ユース育成事業

①基本方針

- ・安心、安全なバスケットボール環境の実現
- ・個の成長を促す指導内容、指導方法の実践
- ・DC事業の定着、発展
- ・育成方針、発掘方針、育成マインドの伝達
- ・各地区講習会の開催における強化（発掘・育成）、普及
- ・マンツーマン推進（基準規則の伝達・技術の伝達）
- ・伝達講習の充実、指導者養成
- ・U12、U15、U18間のカテゴリーを超えた連携、交流、情報共有
- ・強化委員会、指導者養成委員会、普及委員会、医科学委員会、競技部との連携
- ・国民スポーツ大会少年種別、中高一貫指導体制
- ・リーグ戦事業の充実

②事業計画

◆U16DC講習会

- ・中央講習会 2026年4月～7月

◆U15DC講習会

- ・中央講習会 2026年10月～2027年2月

◆U14DC講習会

- ・前期8地区講習会 2026年5月～6月
- ・後期8地区講習会 2026年9月～2027年3月
- ・中央講習会 2027年1月～2月
- ・大阪DC交流大会 2027年2月または3月 会場：調整中

◆U13DC講習会

- ・8地区講習会 2026年10月～2027年3月
- ・大阪バスケットボールカーニバル8地区交流戦
2027年3月22日（月祝） 会場：おおきにアリーナ舞洲

◆U12DC講習会

- ・2026年7月～2027年3月
- ・大阪DC交流大会 2027年1月～2月

③U15バスケットボール大阪リーグ

前期

- 第1節：2026年5月31日（日） 会場：大阪府各中学校
- 第2節：2026年6月7日（日） 会場：大阪府各中学校
- 第3節：2026年6月14日（日） 会場：大阪府各中学校
- 第4節：2026年6月21日（日） 会場：大阪府各中学校

後期

- 第1節：2027年2月7日（日） 会場：大阪府各中学校
- 第2節：2027年2月11日（木） 会場：大阪府各中学校
- 第3節：2027年2月14日（日） 会場：大阪府各中学校
- 第4節：2027年2月21日（日） 会場：大阪府各中学校

(3) 指導者養成事業

①JBA公認コーチの登録管理

2026年度 TeamJBA 登録開始 2026年3月17日 10:00～

②JBA公認コーチ養成講習会の開催

- ◆JBA公認C級コーチ養成講習会（各3日間） 座学・実技
第1回：2026年6月 会場：未定 講師：3名 受講生：30人

◆JBA 公認 D 級コーチ養成講習会 (各 2 日間) 座学・実技

第 1 回 : 2026 年 5 月	会場 : 未定	講師 : 3 名	受講生 : 40 人
第 2 回 : 2026 年 9 月	会場 : 未定	講師 : 3 名	受講生 : 40 人
第 3 回 : 2026 年 10 月	会場 : 未定	講師 : 3 名	受講生 : 40 人

③リフレッシュ研修会の企画、開催

第 1 回 : 2026 年 7 月	会場 : 未定	講師 : 1 名	受講生 : 100 人
第 2 回 : 2026 年 10 月	会場 : 未定	講師 : 1 名	受講生 : 100 人
第 3 回 : 2026 年 11 月	会場 : 未定	講師 : 1 名	受講生 : 100 人
第 4 回 : 2026 年 12 月	会場 : 未定	講師 : 1 名	受講生 : 100 人
第 5 回 : 2027 年 1 月	会場 : 未定	講師 : 1 名	受講生 : 100 人

(4) 普及事業

①第 19 回大阪シニア大会の開催

日程 : 未定

会場 : 未定

<医科学>

1. メディカルチェック(フィジカルチェック含む)の実施

主に小学生、中学生、高校生、大学生で公募。メディカルチェックの測定種類は、通常版と簡易版(簡易版は、主に小学生向け)がある。通常版は、1件につき30名以上、簡易版は、1件につき10名以上で開催する。受診料は、500～2,000円/人を徴収(大阪府外登録者やオプション運動指導等で変化)。必要機材を順次揃えていく。特に足首ねんざの予防に力を入れ、エコー検査を中学生から推進していく。また、メディカルチェックの結果をフィードバックして各選手に認識させ、起きやすいケガを予防するトレーニング方法やケガをした時のリハビリ等の運動指導を行う。

メディカルチェックを実施したチームを対象にケガ予防の介入を公募。希望チームには、ケガの教育からエクササイズメニューを指導し、1年間は継続実施を予定し、ケガの増減などを追跡評価する。

2. 講習会の開催

一般現職者や指導者、審判、競技者等、対象者の範囲を大きく広げて講習会を開催。オンラインや対面での講習を行い、幅広い内容で実施予定。年間2回程度開催予定。

3. 専門家向け研修会・勉強会の開催

医科学委員、サポートスタッフ(学生を含む)、メディカルチェックスタッフ、有資格の希望者等を募り研修会や勉強会を開催し、スタッフの各種レベルアップをはかる。年間で2回程度開催予定。また、受講者の中から本委員会への貢献度、人格面、経験値などを考慮して活躍を期待できるスタッフに日本スポーツ協会アスレティックトレーナーやスポーツドクター、スポーツデンティスト等の養成講習会参加への推薦を当協会に依頼する。

4. 大会でのトレーナーブースの設置、トレーナー派遣

当協会、各連盟主催の大会時、トレーナーブースを設置し、選手に対する救護、テーピング、アイシング、ストレッチ指導、トレーニング指導、リハビリ指導などのコンディショニングを業務とする。業務に必要な資材の充実を図る。現場ではビデオ通話などで間接的に医科学委員のドクターに指示を仰げるようにし、状況に応じた対応ができる体制を整えていく。要望に応じて、女性アスリートサポートや栄養、アンチ・ドーピングに関するブースを併設し、様々な分野から選手をサポートできるような運営をする。

また、選抜チームや希望するチームへのトレーナー派遣を依頼に応じて行う。チームへのトレーナー派遣では、チームの要望、特性に合わせた内容を作成、指導を実施。

5. 大会へのドクター派遣

当協会や各連盟主催の大会、全国大会、Bリーグ、Wリーグ、審判部フィットネステストなどへドクター派遣やドーピング検査への協力を行う。

6. アンチ・ドーピングの啓蒙と普及

国民スポーツ大会府代表選手や各カテゴリーにおける選抜選手・全国大会出場チームなど、ドーピング検査対象になり得る選手やチームへのスポーツファーマシストによるアンチ・ドーピング講習会や管理栄養士による栄養介入を行う。また、各種大会などでブースを設置し啓蒙と普及を行っていく。

7. DC など協会事業への協力

DC 中央講習会の救護やメディカルチェックで協力をする。

DC においては、地区練習会での傷害予防や体力向上等の内容で運動指導の回を設ける。

8. 協賛医院・企業の募集

ホームページに広告掲載する協賛医院・企業を募集する。

9. 学会発表

これまでの傷害予防調査の結果やメディカルチェックの結果をもとに日本体力医学会、日本臨床スポーツ医学会や日本バスケットボール学会にて発表を行い、傷害予防についての啓発を行う。

10. ホームページの作成・充実

現在存在する協会ホームページ内の医科学委員会ページの内容の充実化として、活動記録や傷害予防啓発の発信などを行う。

11. U12 チームへの医科学の介入

指導実践研究グループ(C&PDSA)による枚方市スポーツ協会の地域型総合クラブへの傷害予防を目的とした医科学委員の介入を行う。

12. 女性アスリートへのサポート

当協会に登録をしている女性選手に対して、健康に競技生活を送れるようにサポートをするためにアンケート調査を実施して現状を把握し、産婦人科医を中心にして生理に関する知識の普及のため選手・保護者・指導者向けの講習会の開催を予定。

13. 管理栄養士による介入

女性アスリートサポート事業での管理栄養士の介入として、月経による鉄欠乏性貧血、相対的エネルギー不足による月経不順、骨密度低下(骨粗鬆症リスク、疲労骨折)、免疫力低下、月経周期に伴う体調の変化、月経痛、PMS についてアプローチしていく。また、ジュニア世代の身長栄養学等の講習会や指導、介入を行う。

14. 医科学委員会会議の開催

年 4 回、会議を行う。委員だけでなく医科学委員会の設定している準委員などの希望者もオブザーバーとして参加してもらう。

<審判>

1. 2026年度 大阪府所属上級審判員

S級 7名：浅野祐樹（U15）飯尾勝紀（U18）大倉哲也（U18）茅野修司（社）
嶋崎 貴（社）細見竜太（社）村田尚美（社）

A級 11名：石川淳也（U15）太田令菜（U18）北村仁（U18）森照代（U18）河崎亮介（U15）
木村裕也（U12）伊達桃子（社）頼富未喜（社）田中真規（社）堂國和昭（U12）
花谷槇子（社）

2. 重点目標

- ・『公平性・一貫性のある判定力』を持つ審判員の育成。
- ・プレイヤー、ベンチ、観客から信頼を得る審判員の育成。
- ・3P0担当審判員の育成。
- ・次世代を担う審判員の育成（U18 B級審判員の輩出・強化）。
- ・B：A：S級ライセンス昇格者の育成
- ・2026年大阪IH・2027年大阪全中に向けての地元審判員の強化

3. 方針

①バスケットボール技術向上の為に正しいルールの適応と実践。

実技及び座学講習会を実施すると共に映像を使用しての分解講義の実施。

②大きな枠組み以外に細分化した講習会の継続実施。上級審判員輩出までの強化プロセスのシステム化

3P0：2P0：指名強化：女性：BCD級：U25：YOC（ヤングオフィシャル）を対象とした講習会の実施。

③カテゴリー、連盟、部署、他競技を超えた交流を行い、各組織との連携強化、相互発展を目指す。

④他府県及び他ブロックの審判派遣。

大阪府以外への審判員派遣を行い、普段と違う環境での活動を行う。

⑤審判員として常に向上心を持ち、研鑽する努力を積極的に行う。

⑥審判委員HPの活用。

各種大会及び結果、報告書を掲載し情報の共有と提供を行う。

4. 審判派遣事業

●全国派遣

インターハイ：大阪 地元審判員 多数参加

全中：島根 B級以上 3名 派遣予定

インカレ A級以上 1名 派遣予定

ウインターカップ：東京 A級以上 1名 派遣予定

Jr ウインター：東京 B級以上 3名 派遣予定

全国ミニ：東京 U25 B級以上 1名 派遣予定

社会人選手権：埼玉 B級以上 1名 派遣予定

●全関西交歓大会（広島県開催）

12月（中学） 若手中心のB～C級 2～5名 派遣予定

3月（高校） 若手中心のA～B級 2～5名 派遣予定

5. 審判育成事業（講習会計画）

講習会・研修会 名	時 期	備 考
インターハイ 審判強化講習会	6月	2026年大阪IH 希望審判員（A、B級）
全中 審判強化研修会	10月・2月	2027年大阪全中 希望審判員（B級）
女性講習会	4～8月	女性審判員
A級+A級候補審判強化講習会 （ステップアップ研修会）	通年	指名A級・B級審判員
BCD級講習会	7～12月	BCD級審判員
A級研修会（近畿ブロック）	8月	A級審判員
B級昇格審査会	12月	連盟長推薦
JBA ルール伝達講習	3月	各連盟長
U25 審判研修会	通年	連盟推薦 審判委員会指名
U-18 Referee Academy Osaka （高校生対象審判講習会）	通年	高校生